

● 活動目的

- 1) WHO／UNICEF「母乳育児がうまくいくための 10 のステップ(2018 年改訂)」に基づき、継続的且つ包括的に母乳育児を支援することを目的として、母乳育児推進室を設置し組織的に運営を行う。
- 2) 支援の対象は、当院で出生した健康な正期産新生児だけでなく、NICU・小児科病棟などに入院する病児とその母親、疾患を持つ母親など、すべての児と母親、その家族とする。
- 3) 母乳育児中の母子だけでなく、疾患などのために母乳育児ができない母子に対しても適切な支援を提供する。

● 活動状況

1. 推進室会議:2 か月に 1 回開催

2. 院内活動

a) 研修

- a) 新採用者向け研修:赤ちゃんにやさしい病院(BFH)オリエンテーション(多田克彦母乳育児推進室長)→2020 年度中止
- b) 初期研修医・学生向け研修:
 - ① 4 月「妊娠・授乳と薬剤」大岡尚美(産婦人科)中村和恵(新生児科)
 - ② 6 月(助産学生)1 月(看護学生)「BFH とは」柚木直子(6A)中村和恵(新生児科)

b) 院内での連携・啓発活動

- a) 各病棟からの授乳婦の母乳育児相談(随時)
- b) 妊娠・授乳と薬剤に関する相談(妊娠と薬外来、薬剤部と連携)
- c) 児が NICU に入院した母子分離の母親の 2 週間健診開始(4 月～)
- d) 退院後の支援の再編:乳房センター→子育て支援センターと名称を変更し、乳房ケアにとどまらない子育て支援を目指す(2021 年 1 月～)
- e) 「赤ちゃんにやさしい病院」職員認知度アンケートの実施(2021 年 2 月)

3. 院外への情報発信

a) 保健医療従事者対象

- a) 小児救急医療研修(成育医療研修):講義・病棟見学→2020 年度中止
- b) 岡山県看護協会・新人助産師研修:
講師:有道順子(外来)小谷教恵(6A)、多田克彦(産婦人科)、中村和恵(新生児科)
- c) BFH 連絡会議参加(オンライン)11 月 15 日:有道順子、常久幸恵、柚木直子、中村和恵

b) 患者様ご家族、一般の方対象

- a) わいわいサークル 毎週木曜、月 1 回ミニ講座開催(離乳食・虫歯予防・子どもの服薬・救急時の対応など)→感染対策のため現在休止中
- b) 病院フェスタ:BFH や乳児栄養に関する情報提供、啓発活動→2020 年度中止

c) 出前講座

① 南方子育て支援センター育児講座:7月中村和恵(新生児科)

② 中高生への性教育(6A助産師)→2020年度中止

d) 育児相談事業(看護協会)2月

e) 国際助産師の日(看護協会)BFHポスター展示

4. 赤ちゃんにやさしい病院月間(毎年8月1日-31日)

a) 世界母乳育児週間(8月第1週)にあわせて、2017年より8月を「赤ちゃんにやさしい病院」月間と設定し、乳幼児の栄養に関する啓発活動を行っている。

b) 2020年度

a) 「赤ちゃんにやさしい病院」新聞を作成・配布(一般外来者・各病棟)

b) 院内掲示物等確認のラウンド(母乳代用品のマーケティングに関する国際規準違反の確認:産科・小児科外来・授乳室など)

5. 業績

1) 母親の側からみた母乳育児の科学的エビデンスー母乳育児と肥満ー

多田克彦

日本母乳哺育学会雑誌 2020; 14: 60-67(2020年7月)総説

2) 母乳育児と母親のこころの問題ー母親のニーズと不安の原因ー

多田克彦

日本母乳哺育学会雑誌 2020; 14: 80-88(2020年7月)総説

3) 妊婦, 授乳婦における薬に対する意識調査

平澤ゆみこ, 上野杏菜, 羽藤加奈恵, 田頭尚士, 山本 宏, 常久幸恵, 多田克彦, 中村和恵

日本小児臨床薬理学会雑誌 2019; 32: 125-132(2020年8月)

4) Tada K, Miyagi Y, Nakamura K, Yorozu M, Fukushima E, Kumazawa K, Nakamura M, Kageyama M.

The optimal prepregnancy body mass index for lactation in Japanese women with neonatal separation as analyzed by a differential equation. Acta Med Okayama 2021; 75(1): 63-69

5) Nakamura K, Matsumoto N, Nakamura M, Takeuchi A, Kageyama M & Yorifuji T. Exclusively

breastfeeding modifies the adverse effect of late preterm birth on gastrointestinal infection: nationwide birth cohort study in Japan. Breast Med 2020; 15(8): 508-515